

えがお

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会
〒820-0205 嘉麻市岩崎 1143 番地 3 稲築住民センター内
TEL.0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX.0948-83-8005 info@kama.syakyo.com
f <https://www.facebook.com/kama.swc>

希望いっぱい新一年生 ～嘉穂小学校入学式～



児童・高齢者・障がい者虐待には、縦割り行政ではすぐに対応できません。また、虐待が起きない地域づくりやその予防には住民の方の力が必要です。

埼玉県行田市 保健師兼認定心理士

（現 東都医療大学）野村 政子さん



周りに困っている方がいらっしやるのではないのでしょうか？地域全体で権利擁護を考えていく仕組みづくりが求められています。

全国権利擁護支援ネットワーク事務局長

上田 晴男さん



認知症はご本人だけでなく家族もつらい気持ちを抱えています。まち全体に認知症への理解者が増えていってほしいです。

嘉麻市認知症サポーターキャラバンメイト

中島 暁子さん



精神障がい者の方の「地域の一員として暮らしていきたい」という思いにみなさんも一緒に寄り添ってほしいです。

特定非営利活動法人

ハートフルボイス代表 村上 拓さん



住み慣れた地域で暮らし続けたいというご本人や家族の方々の願いをかなえるための仕組みを市民のみなさんと一緒に作っていききたいです。

嘉麻市社会福祉協議会 木山淳一事務局長



3月23日（日）、嘉麻市との共催で、『みんなの力で地域を支え合うフォーラム』を行いました。第一部は、埼玉県行田市（ぎょうじ）の保健師兼認定心理士の野村政子さん（現 東都医療大学）の野村政子さんが、『行田市における包括的虐待防止の取り組みについて』と題して講演され、住民が中心となったネットワークの大切さについて詳しく説明されました。

第二部は、意見交換会を行いました。パネリストは、全国権利擁護支援ネットワーク事務局長の上田晴男さん、嘉麻市認知症サポーターキャラバンメイトの中島暁子さん、特定非営利活動法人ハートフルボイス代表の村上拓さん、本会の木山事務局長の5名で、それぞれの立場から、困りごとを抱えている方を支えることについて、意見を述べられました。

約150名の参加者が、真剣に聞き入っており、いろいろな方の話が聞けて勉強になった。自分にもできることがあるんじゃないかななどの声も聞かれ、地域で支え合うことの大切さを一緒に考えることができたフォーラムとなりました。



成年後見制度 Q&A

こんなときどうする？

夫 松さん 70代男性
妻 梅子さん 70代女性
アルツハイマー型認知症で入院中

Q. 松さんは、妻（梅子さん）名義の預金通帳から入院費用を払い出すため、銀行に行きました。けれど、銀行の窓口で、「委任状がなければ、梅子さんのお金なので、お金を下ろすことはできません」と言われました。梅子さんは、認知症のため、字を書くことができません。さて、どうしたらいいでしょうか。

A. 後見開始の審判を家庭裁判所に申し立て、成年後見制度を利用します。すると、成年後見人が選任され、法定代理人として、梅子さんの預金を払い出すことができます。

※ 法定代理人・・・法律により代理権が与えられる代理人

平成26年度 事業計画及び収支予算が成立

平成26年度の事業計画及び収支予算が3月17日(月)の理事会での承認を得て、25日(火)の評議員会で議決されました。

本会の活動の中では、失業等による経済的困窮や低所得に関する相談が数多くある現状です。積極的に地域に向向いて、その人に寄り添いながら、一緒に課題の解決に取り組むと同時に、本会としての生活困窮者支援のあり方や事業の具体化についても研究していきます。

また、高齢者や障がい者などの権利を擁護していくための取り組みにも力を入れます。今年度も、市民後見人養成講座を継続して開催するほか、昨年度の受講修了者に対するフォローアップ研修や市民後見事例検討会なども実施します。他にも、以下の事業、活動に取り組んで参ります。

●法人運営部門

1. 組織の基盤強化

- (1) 会長・副会長会議の開催
- (2) 理事会の開催
- (3) 評議員会の開催
- (4) 内部監査の実施
- (5) 外部監査の実施
- (6) 福祉サービスの利用に関する苦情解決第三者委員会の開催
- (7) 任期満了に伴う理事・監事の改選
- (8) 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の改選



2. 財政基盤の安定および各種財源の確保

3. 法令の遵守および事業経営の透明性の確保

- (1) 内部監査の実施
- (2) 税理士事務所による外部監査の実施
- (3) 財源の使途の明確化

4. 社会福祉法人新会計基準移行に向けた準備

- (1) 社会福祉法人新会計基準に準拠した経理規程の改正
- (2) 移行に向けたシステムの構築

5. 職員体制の充実および職員の資質向上

- (1) 欠員となっている職員の採用
- (2) 心と体の健康支援
- (3) 各種研修会や講習会に参加し、知識や技術の向上を目指す

●地域福祉活動推進部門

1. 会員を増やしていくために

- (1) 会員の募集及び拡充

2. 福祉情報を収集・発信するために

- (1) 広報紙による情報発信
- (2) 事業パンフレットによる情報発信
- (3) ホームページの運用



3. いろいろな困りごとの相談に応じるために

- (1) 法律相談事業
- (2) 心配ごと相談事業

4. みんなの権利が擁護できるように

- (1) 成年後見制度等に関する学習機会の提供
- (2) 本会独自の地域福祉権利擁護事業及び県社協の日常生活自立支援事業の実施
- (3) 法人後見受任体制の整備

5. 低所得等の方々に資金を貸し付け、自立を支援するために

- (1) 生活福祉資金貸付事業

6. 地域での生活を支援するために

- (1) 地域支えあい事業

7. 地域の安全と環境保全につなげるために

- (1) 空き家管理住まいのサービスの推進

8. 地域のつながりを育むために

- (1) 地域の交流拠点寄ってこハウスの運営事業
- (2) 地域福祉部の設置・活動支援事業
- (3) ふれあい・いきいきサロンの設置・活動支援事業

9. 地域の福祉について考えるために

- (1) 地域福祉推進委員会

10. いざという時に備えるために

- (1) 地域おける要援護者の把握
- (2) 福祉ベル・電動ブザー設置事業
- (3) 緊急時通報システム設置事業



11. 子育てを支援するために

- (1) 子育て用品リユースセンターの運営
- (2) おしゃべりサロンの開催
- (3) チャイルドシート貸出事業



(4) 子育て情報紙の編集発行

- (5) 児童遊具実態調査・遊具整備事業

12. 高齢者の方々を支援するために

- (1) 紙おむつ宅配事業
- (2) 福祉機器貸出事業
- (3) 在宅介護者の集い



13. 障がい児・者の方々を支援するために

- (1) 障がい児日中一時支援事業

14. ひきこもり等の状態にある本人及びその家族を支援するために

- (1) 本人及び家族等への支援事業

15. ボランティア活動や市民活動を広げていくために

- (1) ボランティア・市民活動センターの運営
- (2) 災害ボランティアセンター事業
- (3) ボランティア・市民活動センター運営委員会
- (4) ボランティアに関する学習機会の提供

16. あらたな事業を企画・実施するために

- (1) 生活困窮者自立支援法にもとづく自立支援事業等に関する調査・研究

17. 共同募金運動に協力するために

- (1) 街頭募金への協力
- (2) 戸別募金への協力
- (3) 職域募金への協力
- (4) 法人募金への協力
- (5) キャラクター募金箱設置先の開拓協力
- (6) 赤い羽根自動販売機設置先の開拓協力



18. その他の事業活動

- (1) 各種団体等への助成事業
- (2) 弔電子郵便送付事業
- (3) 初盆世帯供物配布事業
- (4) アルミ缶回収事業
- (5) 葬祭場指定事業の実施
- (6) バス待合所の管理
- (7) ポストカードの販売
- (8) 飲料水自動販売機の設置事業



●在宅福祉推進部門

1. 介護保険事業の推進

- (1) 居宅介護支援事業
(嘉麻北居宅介護支援事業所)
- (2) 訪問介護事業
(嘉麻北訪問介護事業所、嘉麻南訪問介護事業所)
- (3) 認知症対応型共同生活介護事業
(グループホームよかとこの家)

2. 障害者総合支援法にもとづく障がい福祉サービスの提供

- (1) 居宅介護
- (2) 重度訪問介護
- (3) 同行援護
- (4) 移動支援事業



●受託事業管理運営部門

1. 受託事業の推進

- (1) 配食サービス事業
- (2) 高齢者生きがい活動支援通所事業
- (3) 生活管理指導員派遣事業



●福祉施設等管理・経営部門

1. 指定管理施設の管理・経営

- (1) 山田ふれあいハウス



平成26年度 一般会計資金収支予算書

●経常活動による収支

(収入)	
会費収入	1,602
寄附金収入	4,250
補助事業等収入	6,877
経常経費補助金収入	39,373
助成金収入	1,525
受託金収入	24,327
事業収入	22,112
共同募金配分金収入	4,671
介護保険収入	77,415
自立支援費等収入	10,691
雑収入	353
受取利息配当金収入	260
経理区分間繰入金収入	47,165
経常活動収入計	240,621
(支出)	
人件費支出	170,430
事務費支出	7,632
事業費支出	45,991
助成金支出	2,138
負担金支出	565
経理区分間繰入金支出	47,165
経常活動支出計	273,921
経常活動収支差額	▲ 33,300

(単位：千円)

●施設整備等による収支

(収入)	
施設整備等収入計	0
(支出)	
施設整備等支出計	0
施設整備等収支差額	0

●財務活動による収支

(収入)	
その他の収入	0
財務活動収入計	0
(支出)	
積立預金積立支出	175
その他の支出	4,010
財務活動支出計	4,185
財務活動収支差額	▲ 4,185

●予備費 2,577

●当期資金収支差額合計 ▲ 40,062

●前期末支払資金残高 40,062

●当期末支払資金残高 0

災害ボランティアってなあに？

災害ボランティアとは？

地震や豪雨等の自然災害が起こった際に、被災地において、復旧、復興活動を行うボランティアのことです。昨年の夏に発生した山口県豪雨災害では、嘉麻市でも34名の方が現地で活動されました。



災害時の活動内容は？

災害の内容によって活動も変わってきますが、土砂や家財の片付け、炊き出し、支援物資を届けること、物資の仕分け、被災された方の話を聞くことなどいろいろなことがあります。

災害ボランティアセンターとは？

災害時に設置される被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。災害が起き、ボランティア活動をしようと思った時は、まず災害ボランティアセンターにお問い合わせください。センターでは、次のようなことを行っています。

- ・被災者のニーズの把握…被災された方の困りごとや復旧のために必要な作業等を把握します。
- ・ボランティアの受け入れ…全国から訪れる多数のボランティアの方の受け付けや保険加入の手続き等を行います。
- ・ニーズとボランティアの人数等の調整…被災された方の困りごとに対して、活動内容を確認し、必要な人数等の調整を行います。



- ・資機材の貸し出し…活動に必要な資機材（スコップ等）を貸し出し、管理します。
 - ・活動の報告、振り返り…その日の活動を振り返り、今後どう進めて行くかをセンタースタッフで確認します。
- 嘉麻市で大規模な災害が起こった時は、本会がセンターを立ち上げ運営することとなります。



このような活動をしてみたいと思われる方は、個人ボランティアの登録を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

ボランティア募集

イベント情報

施設内ボランティアの募集

介護施設や障がい者福祉施設でのボランティアを募集しています。

- 日時** 月曜日～日曜日の 10時～18時
(可能な日および時間帯で構いません)
- 場所** 住宅型有料老人ホームひばり吉祥苑(漆生 1322-22)
住宅型有料老人ホーム喜楽苑(漆生 1416-3)
東ヶ丘デイサービスセンターひばり(漆生 1317-26)
多機能型事業所 ひばり(漆生 1322-19)
多機能型児童発達支援事業所 ひばり(漆生 1322-22)
多機能型児童発達支援事業所 ひなた(漆生 1270-33-1)
- 活動内容**
 - ・介護施設内(デイサービスや老人ホーム)での介護援助や軽作業
 - ・障がい者施設内(児童デイサービス、作業所等)での援助業務や軽作業
 - ・イベント(春祭り・秋祭り等)でのお手伝い

嘉穂特別支援学校 学習発表会

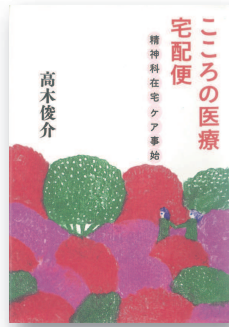
嘉穂特別支援学校では、学習発表会を下記のとおり開催いたします。入場は無料となっておりますので、ぜひご来場ください。

- 日時** 平成 26 年 5 月 31 日(土)
9:00～13:20
 - 場所** 嘉穂特別支援学校(鴨生 328-1)
 - 内容**
 - 9:00～11:00 受付
 - 9:20～12:05 開会式・ステージ発表・閉会式
 - 12:15～13:20 中学部作業学習作品販売(作品販売)
- 園芸班…季節の野菜 製菓班…手作りクッキー
手工芸班…手作り石けん、窯業作品

今月の

一冊

こころの医療 宅配便 精神科在宅ケア事始



著者 / 高木俊介
ふんげいしゆんじゆう
出版社 / 文藝春秋

この本は、精神科医である著者が京都で取り組んでいるACTT (Asserative Community Treatment) の活動について書かれています。ACTTとは、重いこころの病により長期入院や頻回入院を余儀なくされていた人が地域で生活するための支援の方法です。この支援の特徴は、本人の暮らしている所に、医師や看護師、精神保健福祉士など様々な職種の専門家がチームを組んで訪問するところにあります。それにより治療だけでなくリハビリテーションや社会復帰支援、就労

支援まで一貫して行うことができず。また、その支援が24時間365日行われず。日本では財政的にも制度的にも基盤が整っておらず、著者が初めて取り組み、ACTTを京都で行う組織として「ACTT-K」と呼ばれています。

本の中では、ACTT-Kのスタッフが支援をしている方々の具体的な事例がいくつか挙げられており、病院を出ていざ地域で暮らしていくなかで、病状や周囲との関係でうまくいかないこと等が描写されています。そんな時にACTT-Kのスタッフは、本人の声を一番大切にし、そばにいて一緒に考えながら解決していくのです。

著者をはじめとするスタッフ全員が、本人が『希望』を手にする事ができるような一生懸命に支援する姿が印象的です。また、本に登場する地域でいきいきと生活できるようになっていく方々の話から、支えるということはどうあるべきなのかを見つめなおすことができました。他にも日本の精神病院の問題や根強く残る偏見について問題提起されており、たくさんの方の事を感ずる、考えることができた一冊です。(溝口)

6月の総合相談

法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

法律相談

- とき: 6月5日 (木) 13:00~16:00
ところ: 山田ふれあいハウス
- とき: 6月19日 (木) 13:00~16:00
ところ: 稲築住民センター

心配ごと相談

- とき: 6月11日 (水) 13:00~15:00
ところ: 稲築住民センター
- とき: 6月25日 (水) 13:00~15:00
ところ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会
☎0948-42-0751

No. 86

炭鉱の記憶



右の写真は、昭和10年頃の共同石炭鉱業株式会社日吉炭鉱の全景です。

写真の中央にある横長の建物の中には、大きなボイラーが2基備えられています。このボイラーで作られた蒸気は、熱が冷めないように、加工されたパイプを通じて、2基の巻き上げ機に送られ、坑内で掘り出した石炭を搬出する動力として使用されていました。

また、この蒸気は近くにあった風呂場にも送られ、お湯を沸かすためにも用いられていました。その途中には蒸気によってできた水滴を取り除く、「じょれんぬき」が数箇所設けられていて、近くに住む人たちは、寒い時期になるとそこに溜まったお湯を洗濯にも利用していたそうです。

この写真を提供していただいた穴井峯敏さんは、「小さな頃は蒸気の上がるシュポッポッポ、シュポッポッポという音が好きで、近くまで聞きに行くのが楽しみやっただよ」と懐かしそうに話します。

ボイラーのあった建物は、現在はもう残っていませんが、2基の巻き上げ機のうち1基(上写真左端)の台座は、日吉峠を下り山田から牛隈へと下る途中の右側の斜面にあり、当時の面影を残しています。



水滴はこの中に貯められ、再利用されていた。



現在も残る巻き上げ機の台座

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。TEL 0948 (42) 0751

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会、評議員会を開催しました。


第 45 回理事会

- 《開催日》平成 26 年 3 月 17 日 (月)
- 【議案第127号】副会長の互選について
- 【議案第128号】定款の一部変更について
- 【議案第129号】平成 25 年度第2次補正予算について
- 【議案第130号】平成26年度事業計画及び収支予算について
- 【議案第131号】平成26年度広報紙印刷請負契約について
- 【報告第 35号】人事異動について

第 31 回評議員会

- 《開催日》平成 26 年 3 月 25 日 (火)
- 【議案第 57号】定款の一部変更について
- 【議案第 58号】平成25年度第 2次補正予算について
- 【議案第 59号】平成26年度事業計画及び収支予算について
- 【報告第 11号】職員人事異動について

今月のえがお



最近 えがおになった出来事を教えてください!

松岡 恵美子さん

昔一緒に働いていた仲間と、二年ぶりに食事会をしました。久しぶりに再会し、みんなの元気そうな笑顔が見れてホッとしました。来年もまた元気に、笑顔で、楽しい会を開きたいです。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

会議室利用のご案内

山田ふれあいハウスは、30 名程度が利用できる会議室を備えています。趣味のサークルや地域の団体などの活動の場として、ぜひご活用ください。

なお、使用するにあたり、事前の申請が必要ですので、下記連絡先までお問い合わせください。

会議室使用料金 1 時間あたり 250 円
冷暖房使用料金 1 時間あたり 450 円

連絡先 山田ふれあいハウス
住所 嘉麻市上山田 502 番地 6
TEL 0948-52-1847



サークル活動
『木目込み人形教室』

飛鳥会館 南斎場

嘉麻市漆生 298-1
☎(0120) 42-2241

指定葬祭場紹介

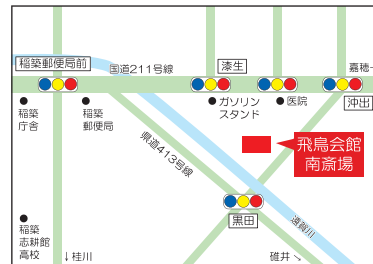
あらい
松尾さん 新居さん 山本さん



まだ
萬田さん 坂本さん

飛鳥会館でご葬儀をされるご家族のうち、8 割の方が事前相談に来館されています。葬儀に関する疑問、予算等気兼ねなくお尋ねください。家族葬にあわせたプランもご用意し、スタッフが心を込めてお手伝いいたします。

また、当会館のお斎には、パドドゥ・ル・コトブキの本格料理をご用意しております。

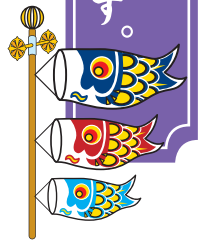


葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館 南斎場を含め、市内に 8カ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499	ひさつね会館	☎52-0758
いすや会館	☎57-4444	セレモニーホールおおつか	☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館	☎62-5566	善光会館 稲築会場	☎83-5000
おかむら葬祭 岡村会館	☎42-4420		

みなさまの善意、心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

3月1日～3月31日受付分

●香典返し

【山野第一】

親族 匿 名 様
故 匿 名 様

【平第二】

親族 国 安 喜代子 様
故 国 安 実 雄 様

【新山野】

親族 藤 崎 きよみ 様
故 藤 崎 ツマエ 様

【枝坂】

親族 村 松 美代子 様
故 村 松 義 信 様

【熊本】

親族 清 水 千 夏 様
故 中 嶋 スミ子 様

【下臼井東】

親族 野見山 久 光 様
故 野見山 学 様

【出川】

親族 原 中 サタ子 様
故 原 中 貞 雄 様

【下宮】

親族 深 澤 洋 子 様
故 深 澤 健 児 様

【原町】

親族 松 井 晴 枝 様
故 松 井 弘 憲 様

【さくらが丘】

親族 水 口 美智子 様
故 水 口 清 重 様

【立石】

親族 竹 上 美江子 様
故 竹 上 明 様

【山下】

親族 小 峠 テル子 様
故 小 峠 末 雄 様

【千手】

親族 安 藤 泰 生 様
故 安 藤 寛 子 様

【芥田】

親族 大 野 洋 子 様
故 大 野 ナミエ 様

【小野谷】

親族 江 藤 房 美 様
故 江 藤 光 明 様

【宮吉】

親族 大 塚 國 光 様
故 大 塚 トシ子 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

【子育てリユース】

漆生中央 横山貴代美 様
飯田 嶽崎 篤子 様
熊本 中島 瞳 様
西川 山田 康子 様
ゆうひが丘 馬場万里亜 様
石ヶ崎 渡邊 綾 様

【原町】

下牛隈 梶原 真理 様
下牛隈 大谷 鮎美 様
下牛隈 堀之内亜希 様
飯塚市 広瀬 陽子 様
桂川町 岡本 千郷 様

【アルミ缶】

漆生本村 匿 名 様
漆生中央 田中茶舗 様
鴨生町 福澤 和代 様
枝坂 久家奈緒美 様
熊本 中島 政美 様
下臼井東 匿 名 様
六四田 松田 敏雄 様
百々谷 匿 名 様
神幸 樋口 朋華 様
中央 明石 睦則 様
石ヶ崎 渡邊美千代 様

【リングプル】

東岩崎 匿 名 様
樋渡 藤春 一枝 様
鴨生町 福澤 和代 様
下臼井東 匿 名 様
熊ヶ畑第一 笹尾 五重 様
尾浦第一 大津 弘子 様
大橋 姉川 亮太 様
猪之鼻 川崎満里子 様
石ヶ崎 渡邊 ととき 様
石ヶ崎 桃崎 晃大 様
石ヶ崎 桃崎 奏大 様
古河 甲斐 良子 様
中益 野見山佳乃 様
上牛隈 嘉穂洋瓦 様

【古切手】

上牛隈 嘉穂洋瓦 様
市内 匿 名 様
姫押花の会 名 様
フレンズ 様
教育ナビゲーション(株) 様
JA福岡嘉穂南部 様
グリーンセンター 様
カトレアサークル 様

【使用済テレカ】

上牛隈 嘉穂洋瓦 様
【アルミ】 塚原 京子 様
古河 様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています



会員として、次の方々にご加入いただきました。(敬称を省略させていただきます)

3月1日～3月31日受付分

- 〈漆生本村〉西條関光
- 〈山野第一〉辻田亜由美
- 〈樋渡〉花岡ツヤ子、川上采織里
- 〈鴨生第一〉匿名(十口)
- 〈鴨生町〉越岡幹雄(三口)、川端房子、田中早人、井口磨智子、辻田浩、諸井慶次、串間徳男、大屋善則、北添誠、西出福江、宿里幸男、立川ハツエ、末田正和、石田佐知子、永田隆正、園清隆、高瀬勝巳、川角定行、近藤昭枝、佐敷誠、国房恒子、小島レイ子、大井博、光延義久、高津嘉子、大原義子、梶原謙蔵、許斐富美子、篠田芳子、栗原清子、棚田幸子、古賀和代、東イソ、長崎しずえ、荒川逸子、山田順子、松本ミヨ子、小峠花子、高木ハツ子、森田正子、西川ヤエノ、角田渉、山崎千代子、江藤ハツ子、和田リツ子、水永義治、中村勸、山本加代子、山本光子、田中光春、村上富美子、山下靖治
- 〈平第一〉小林和子
- 〈漆生老松〉木山淳一(二口)
- 〈平東〉米矢稲子
- 〈枝坂〉千草鳳玉(五口)、千草玉鳳(五口)
- 〈飯田〉高原綾子
- 〈下臼井西〉瀬戸禮子
- 〈熊ヶ畑第一〉財津吉美、大里恵、大里梶栄、大里優子、大里速、大里初男、友田雅則、広瀬スズエ、大里ミツエ、江藤久人、大里喜久雄、大里京子
- 〈尾浦第一〉松本由美子、酒井リツ子
- 〈木城〉大里英雄
- 〈大橋〉深町紀子
- 〈中央〉渡辺進、渡辺智子
- 〈蛭子〉大久保昌之
- 〈立石〉竹川寿一、竹川瞳
- 〈大隈〉斎藤ゆかり
- 〈上町〉小林恭子
- 〈下牛隈〉柿坂信子
- 〈飯塚市〉木原靖世(二口)
- 嘉麻市稲築地区民生委員児童委員協議会(二十口)

【お詫びと訂正】

第98号(4月1日発行)の「かまポランティア・市民活動センター情報」の記事で、「宮古市」という表記は、「宮古市」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

ふるさとへの手紙 No.99



山口県宇部市在住
中尾 睦子さん
(旧姓 中村) 上山田出身

二月九日、碓井庁舎を過ぎると、薄化粧をした、古処連邦が見えました。その途端、石川啄木の「ふるさとの山に向ひて、言ふことなし、ふるさとの山はありがたきかな」を思い出し、ポロポロと涙が出ました。何十年も見てきた山々、でも今までと違った気持ちで見えていました。

昨年、古里で一人暮らしをしていた長姉が亡くなりました。母が亡くなった時よりも淋しさが増しています。古里にもう誰もいなくなつたのです。山田南中が山高が、そして山田市もなくなり、古里が遠く、遠くになってしまいました。小学校入学時10クラスあり、運動会、学芸会も地区ごと、映画館も4か所と賑わっていた炭坑町、黒い色のぜんざい川、今は鯉が泳ぎ、カワセミが美しい姿を見せるなど、自然美が戻ったことは、喜ばしいけれど、

複雑な心境でもありません。自然美を前に押し出す街へと変わりつつあるのか、梅園、桜園、つつじの丘、ひまわり畑、それに農産物、お土産に喜ばれる万十、先輩たちが残した、さまざまなものを引き継ぎ、担う人たち、古里に居て、頑張ってもらっているな一と感じています。

ふるさとが遠くなつたとはいえ、友達がいまいます。友が声をかけてくれます。友と会えば、直ぐ山田の住人になり、筑豊弁丸出しで、しゃべっています。亡くなつた主人も同じ古里ですので、訛りが抜けず、知らない人からも「お宅、九州でしょう」と言われていますし、子どもたちも筑豊弁が混つた変な山口弁です。私の中の、古里、山田のDNAは続いています。

白馬山のふもとの広場には、主人の名の初男桜を植えることが出来、主人の魂も里帰りが出来たと、嬉しく思っています。少しづつ元気になつていく古里、良き古里を見られることを楽しみにしています。

古里の空、山、川、土地、友達、私を囲むすべての人、物、事に感謝です。ありがとございます。

コラム 交差点

老いの花

真白な雪の冠を被つた馬見山から吹き下す風の殊の外寒かつた今冬。今はもう桜に続いて新緑の候。五月の爽やかな風が麓の梨やリソグ園の小さな実をつけたばかりの中を通り抜けて来る。

社協の方々の助けもあり始めることができたピーチクの会も、今年で四年目を迎える。集まつた十四名の者が皆元氣。とは言っても、高齢者の身、腰が痛い、膝が痛いと言いつつ、月一回の集まりを楽しみに、有合せの手作りの品を手に集まつて来る。

まずはラジオ体操に始まり、嘉麻音頭に足白小唄の踊りの練習。今年三月で閉校になった、足白小学校最後の運動会に皆で足白小唄を舞う。又種籾から始める赤米の見事な藁で作出す

しめ飾り。古布から作り出す大小色とりどりの布ぞうり、とプロ級の腕前の会員。ゲートボールの名手もいれば、堂々の全国第4位の民謡の唄の名人。昨年は地元の敬老会に全員参加してヤンヤの大喝采。又デイサービスの方々へのボランティアや、市の文化祭にも参加する方。それでいて、庭先の畑には四季折々の野菜を作り、地元の物産店を賑わしている達人ばかり。

今年も又、時の流れの早さを日々感じる中で老人の智慧を生かし、廻りの人々を喜ばし、まずは自分が楽しみ、喜び、ピーチクパーチクとさえずりながら、何時迄も艶やかに美しく……ウフフ元氣な優しい老いの花を咲かせる会でありたい。

足白サロンプーチクの会
縄田菊江

★ 編集後記 ★



フォーラム終了後、「知らなかったことばかりやったき、勉強になったよ」「私たちにでもできることがあるんやね」などの感想を伺いました。地域で支え合う仕組みに関心を持たれたことを本当にうれしく感じます。みなさんと一緒に何ができるのかを考え、実行に移したいと思います。

(きはら)



3ページに紹介している日中一時支援事業の音楽の時間では、子ども達と一緒に思わず自分も楽しんでしまいました。自由にリズムにのって音を楽しむことで、自然に笑顔になる子ども達を見て、改めて音楽の魅力を感じました。次回も楽しみです。(みぞくち)



炭鉱の記憶の取材の始まりは、日吉峠にある遺構を見かけたことでした。最初はそれが何なのか、いろいろな方に聞いて回りましたが、なかなかわからず焦っていました。そんな中、穴井さんのことを紹介してもらい、とても貴重な写真を見せていただいた時には、本当に興奮しました。

(たけがわ)



暖かくなり、過ごしやすい季節になりましたね。外に出て、春を感じながら散歩するのも良いかと思えます。6ページでは、嘉穂特別支援学校のイベント情報を掲載していますので、行ってみたいかがですか♪

(しろがね)

編集後記を書いている本会職員の見顔絵も募集しています。絵が得意な方、ぜひ、ご協力をお願いします。

特設 くらし・行政なんでも相談所

と き：5月27日(火) 9:30～15:00
と ころ：イオン穂波ショッピングセンター 1階正面エレベーター前 (飯塚市枝国長浦666-48)

◇行政の担当者や弁護士等が相談をお受けします◇

お一人で何件でも相談可能(法律相談を除く)です。

お問い合わせ先 総務省九州管区行政評価局 TEL 092-431-7081